

羽地・今帰仁海域における資源管理の取り組み

(沖縄沿岸域の総合的利活用推進事業)

水産海洋技術センター本部駐在 上原匡人

水産海洋技術センター海洋資源・養殖班 太田 格

水産海洋技術センター石垣支所 海老沢明彦

水産課漁業管理班 中村博幸

1. 目的および背景

沖縄島北部の羽地・今帰仁海域では、沖縄島の中でも埋め立てや護岸整備による人為的な改変が少なく、内湾から外海までの多様な環境が凝縮された海域である(金城, 2001)。沖縄県水産試験場(現 水産海洋技術センター)は、1980年代から1990年代にかけてハマフエフキを対象に人工種苗の放流効果や天然幼魚の生態調査を実施してきた。これらの調査(金城, 1986-1992; 海老沢, 1995)から、

- ① 屋我地島西側に分布する広大な海草藻場にはハマフエフキの幼魚が分布すること
- ② ハマフエフキの来遊量は年変動があり、最大で3倍の違いが認められること
- ③ 人工種苗を放流しても捕食による大きな減耗により、ほとんど生き残らないこと
- ④ 対象海域では、ハマフエフキの若齢魚に対する漁獲圧が高く、1歳で大多数が漁獲されてしまうこと

が明らかにされている。このような背景を受けて、同海域では栽培漁業から資源管理型漁業への転換を図り、1999年2000年から若齢魚(特に1歳魚)が多く漁獲される場所とその期間を保護する資源管理の取り組みが開始された。本取り組みは、管理効果も認められており(海老沢, 2007)、漁業者の長期にわたる自主的な取り組みとして県内の優良事例となっている。そ

の功績が認められ平成24年に沖縄県で開催された全国豊かな海づくり大会では、環境大臣賞を受賞している。本年度も昨年同様に、取り組みについて支援を行ったので、その概要について報告する。

2. 取り組み内容

保護区は、今帰仁地先の1か所(約2 km²)と屋我地島西側の1か所(約2.25 km²)であり、8月1日~11月30日までの4か月間は、採貝を含むすべて漁業が禁止されている。平成27年度は、取り組み開始前の7月17日と取り組み流量後の12月10日に、それぞれ委員会を開催した。7月17日の委員会では、羽地漁協4名、今帰仁漁協10名、名護市および今帰仁村の職員各1名が出席し、今年度も保護区を継続すること、保護区の目印としてのブイの作製・設置の作業日程、保護区の巡視活動等が確認された。また、沖縄県水産海洋技術センターより、昨年までの調査結果に基づく同海域のハマフエフキ資源の状況について説明を行い、資源量が増大し、1歳魚への漁獲係数も減少していることから、取り組みの効果が確実に認められていることが報告された(図1, 2)。12月10日の委員会では、羽地漁協6名、今帰仁漁協7名が出席し、今年度の保護区期間中の巡回活動の状況について報告された。両地区ともに目立った混乱・違反はなく、羽地漁協より、マガキガイなど磯根資源の保護区も設置しては

どうかとの意見が提案された。この件については、今後も両漁協の部会や理事会等で継続して議論していくこととなった。

3. 引用文献

金城清昭（1995）人工種苗の放流と追跡. 平成6年度栽培漁業技術開発事業調査報告書-ハマフエフキ・タイワンガザミ-, 沖縄県水産試験場, 4-10.

海老沢明彦（2007）沖縄島北部海域ハマフエフキ禁漁区の効果について(資源管理型漁業推進調査および統合的沿岸管理). 平成18年度沖縄県水産海洋研究センター事業報告書, 107-119.

金城清昭（1986）ハマフエフキ天然幼魚の生態調査. 昭和60年度栽培漁業技術開発事業調査報告書-ハマフエフキ・タイワンガザミ-, 沖縄県水産試験場, 25-38.

金城清昭（1987）ハマフエフキ天然幼魚の生態調査. 昭和61年度栽培漁業技術開発事業調査報告書-ハマフエフキ・タイワンガザミ-, 沖縄県水産試験場, 25-41.

金城清昭（1988）ハマフエフキ天然幼魚の生態調査. 昭和62年度栽培漁業技術開発事業調査報告書-ハマフエフキ・タイワンガザミ-, 沖縄県水産試験場, 24-36.

金城清昭（1989）ハマフエフキ天然幼魚の生態調査. 昭和63年度栽培漁業技術開発事業調査報告書-ハマフエフキ・タイワンガザミ-, 沖縄県水産試験場, 25-36.

金城清昭（1990a）人工種苗の放流と追跡. 平成元年度栽培漁業技術開発事業調査報告書-ハマフエフキ・タイワンガザミ-, 沖縄県水産試験場, 12-21.

金城清昭（1990b）ハマフエフキ天然幼魚の生態調査. 平成元年度栽培漁業技術開発事業調査報告書-ハマフエフキ・タイワンガザミ-, 沖縄県水産試験場, 30-41.

金城清昭（1991）ハマフエフキ天然幼魚の生

態調査. 平成2年度栽培漁業技術開発事業調査報告書-ハマフエフキ・タイワンガザミ-, 沖縄県水産試験場, 34-43.

金城清昭（1992）ハマフエフキ天然幼魚の生態調査. 平成3年度栽培漁業技術開発事業調査報告書-ハマフエフキ・タイワンガザミ-, 沖縄県水産試験場, 34-42.

金城清昭（2001）潜って観察する 亜熱帯の海でのハマフエフキ稚魚研究. 千田哲資・南卓志・木下 泉（編），稚魚の自然史 -千変万化の魚類学-. 北海道大学図書刊行会, 3-15.

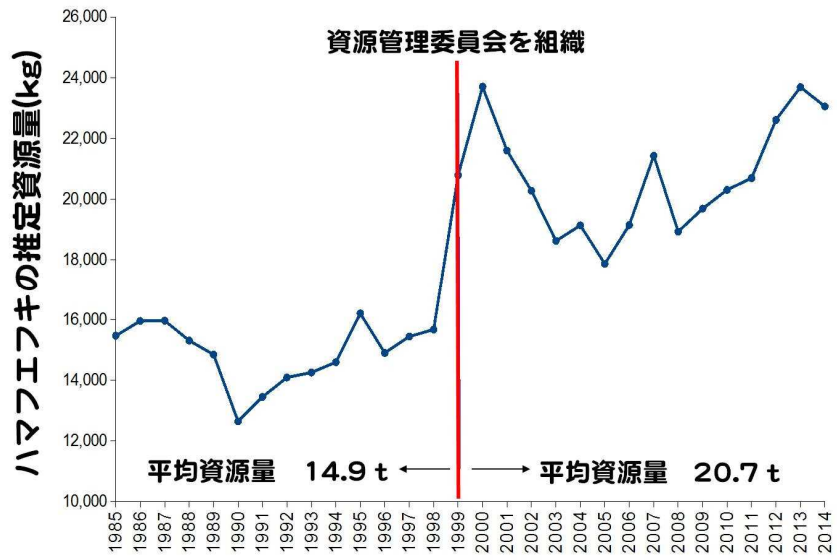


図1 羽地・今帰仁海域におけるハマフエフキの推定資源量の推移

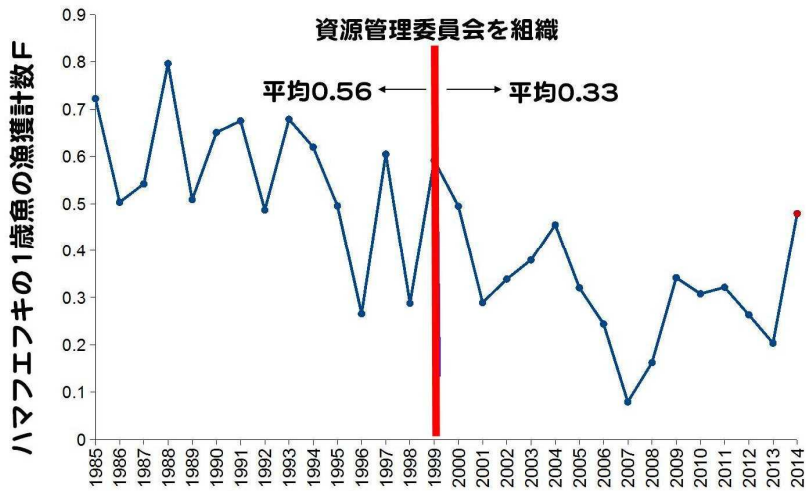


図2 羽地・今帰仁海域におけるハマフエフキ1歳魚の漁獲係数の推移



第1回 羽地・今帰仁資源管理委員会の様子（平成27年7月17日開催）



第2回 羽地・今帰仁資源管理委員会の様子（平成27年12月10日開催）